



1

© Daniel Blaufuks, courtesy of Akio Nagasawa Gallery



2

## ダニエル・ブラーフックス個展

### 「ichi-go ichi-e」

このたび Akio Nagasawa Gallery Ginza では、ダニエル・ブラーフックスによる個展「ichi-go ichi-e」を開催いたします。

ダニエル・ブラーフックスはポルトガルのアーティストで、写真と映像を中心に、インスタレーションや書籍、映画など多様なかたちで作品を発表してきました。これまで世界各地で展覧会を開催し、時間と空間の関係性や私的な記憶と公共の記憶が交差する地点をテーマに、継続的な探究を行っています。

ブラーフックスは、2025年に開催された大阪・関西万博（EXPO 2025）のポルトガルパビリオンにて作品を発表し、その際に初めて日本を訪れました。本展では、来日中に日本各地を旅しながら、日々“ダイアリー”として制作された写真やコラージュ作品を紹介いたします。

また、本展にあわせて、これらの作品を一冊に纏めた新刊『ichi-go ichi-e』を、Akio Nagasawa Publishingより刊行いたします。2017年に刊行した『Attempting Exhaustion』に続く、二冊目の作品集となります。

展覧会と作品集を通じて、ダニエル・ブラーフックスが感じ取った“日本”の一端をぜひこの機会にご高覧ください。

## 《作家略歴》

ダニエル・ブラーフックス Daniel Blaufuks

写真と映像を中心に、書籍やインスタレーション、映画など多様な形式で作品を発表するポルトガルのアーティスト。時間と空間の関係性、私的記憶と公共記憶の交差を主題に制作を続ける。

2007年、写真集『Sob Céus Estranhos』（Tinta-da-china）によりPhotoEspaña国際部門の年間最優秀写真集賞受賞。強制収容所を題材とした作品は、写真集『Terezín』（Steidl, 2010）および映画『As If』（2014）として発表された。2016年、AICA/MC/Millennium BCP Visual Arts Awardを受賞。

2025年、日本国際博覧会（大阪・関西万博）ポルトガルパビリオンにて作品を発表。

■ [作家オフィシャルサイト（英語）](#) ■ [Instagram](#)

## 《開催概要》

作家名 ダニエル・ブラーフックス

タイトル 「ichi-go ichi-e」

会期 2026年3月10日（火）～ 4月4日（土）

火曜～土曜 11:00－19:00（土曜 13:00－14:00 CLOSED）

休廊日：日曜、月曜、祝日

会場 Akio Nagasawa Gallery Ginza [\[map\]](#)

東京都中央区銀座4-9-5 銀昭ビル6F TEL：03-6264-3670

協力 Galeria Vera Cortês, Lisbon

公式ページ <https://www.akionagasawa.com/exhibition/ichi-go-ichi-e/>



## 《関連書籍》

ダニエル・ブラーフックス 『ichi-go ichi-e』

2026年3月 Akio Nagasawa Publishing 刊行

限定800部 / 128頁 / 205 x 285 mm / ハードカバー・袋綴仕様

予価 12,000 円（税別）

<https://www.akionagasawa.com/shop/books/akionagasawa/ichi-go-ichi-e/>



## 《広報・ご取材に関するお問い合わせ》

AKIO NAGASAWA Gallery | Publishing（担当：後藤）[goto@akionagasawa.com](mailto:goto@akionagasawa.com)

《広報用画像》

ご希望の画像番号をお申し付けください。© Daniel Blaufuks, courtesy of Akio Nagasawa Gallery



3



4



5



6



7



8